

# 文芸 六ふくろ

## 短歌

【石瀬短歌会】

こぬか雨降りみ降らずみ日の暮をシン  
ビジウムに雫がたまる

広沢 日出子

窓を開ければ満艦飾まんかんしやくに干してある洋服  
売り場のような洗濯物

久保 悦子

なんとまあ五羽の子つばめ巣立ちたり  
新益すぎて南方めざせ

泉 三郎

感染症に注意してねと打ちたればそち  
らこそと息子のメール来る

古賀 澄

春となり花びらにひそむ小がえるを風  
がゆらせば遠い孫おもう

大関 登志子

昼寝覚め大きく伸びして夏雲のしたな  
る母の里を思いぬ

滝田 勇

七月の青田を渡る風にのり高校球児の  
声ながれくる

浜野和 操

秋立ちてまだまだ残る暑き日を庭常にわとこの  
実の赤ふかみたり

瀧井 幸子

東ひがしの空より今し昇りくる八月六日忌の  
赤い月

渡辺 しな子

雨止みて里山に立ち込めくる靄もろの切れ  
間に浮かぶ木々の濃みどり

雨谷 友子

梗塞こうさくの身ながら窓辺にもたれつつ歌つ  
くるとふ先輩にち子は

小林 美瑛子

精霊しょうりやうを送る奥津城おくつぎせみしぐれちちはは  
看取りし日々甦よみがええる

大久保 富美江

行き交うはマスク仮面の人ばかり喜怒哀  
楽のうかがい知れぬ

鈴木 英雄

新益にいげんの灯り残して白む空うねる如くに  
カナカナの哭く

川崎 邦子

県外に二の孫は住み盆休みも帰省は無  
理とメール六文字

石田 守子

古いそめてデイサービスに来て見れば  
折り紙なども楽しかりけり

萩原 きしの

【一般投稿】

黄金の稲穂に囲われ敵なして眞赤に萌  
えたつ曼珠沙華

鈴木 省一

## 俚謡

【さくら俚謡会】

そばは豊作嬉しい年よ皆な食べましょ  
う晦日蕎麦

山もみじ

コロナを逐おえない貧乏神の賽銭箱には  
音がない

花野 しぐれ

小春日和にご近所仲間集う茶の友舞う  
落葉

みなのか 遊

小雪がやんだらお酒も切れて女の情話  
ができ上がる

稲葉 建正

世界経済泣かせたコロナ願う収束除夜  
の鐘

田 哲人

## 俳句

【一般投稿】

舞い落ちた葉を集めたる秋風かな

長堀 芳江



通所介護（短時間・1日）リハビリテーション部  
居宅介護支援（ケアマネジャー）

リハビリハート総合介護ケアセンター

理学療法士 本橋寛樹

介護のご相談・リハビリ無料体験ご送迎も可能

0296-73-6965

桜川市西桜川2-18-5（50号沿い）茨城トヨタさんとなり